

CELICA



1600GT GTV

GTV

いま、2つのGTがセリカに生まれた——
その静かなやつ、1600GTは新型。
その熱い存在、1600GTVは新登場。

私達のあこがれ—未来の車アドバンスカーを発想母体にして生れたセリカセダンやハードトップの延長上にはない、全く新しいカテゴリーにある〈スペシャルティ・カー〉です。1600GTは、かつて私達が抱いていた車の概念からは想像もできないユニークなパーソナルカー、セリカの最高級モデル。まさに〈グラン・ツーリスモ〉としか呼びようのない、本格的なGTです。あやしいばかりに美しく、しかも未来を指向した斬新なスタイル。それにつつまれた広い室内、豊かな空間。これ以上望めないほどの豪華な装備



そして、高速ツーリングを堪能できる走行性能——すべてがグラン・ツーリスモの名に価する魅力です。いま、この1600GTが、随所にスペシャルティ・アップをはかって新型でデビューしました。しかも、強烈なライバル、1600GTVをひきつれて。新型GTは、視認性を向上させた立体的なリヤコンビネーションランプ。リヤピラーに新設したフューエルキャップ。エアコン吹出し口内蔵の大型フルコンソール。照明コントロールつきノブ類。2操作式のステアリングロック。燃料蒸発ガス排出抑止装置などを装備。スタイ

ル・インテリア・安全対策にレベルアップをはかっています。新登場1600GTVは、これに加えて専用設計のハードサスペンションと超偏平・高速ラジアル(185/70HR-13)を装着。バリアブルレシオのステアリングギヤと油温計も装備。ボデーサイドには2本のストライプ、ユニコン(一角獣)マークをあしらっています。VのイニシャルはVictory(勝利)のV。その装備、そのいで立ちにふさわしい呼称です。DOHC1588cc・115PSのパワーユニットを同じにしな

GT



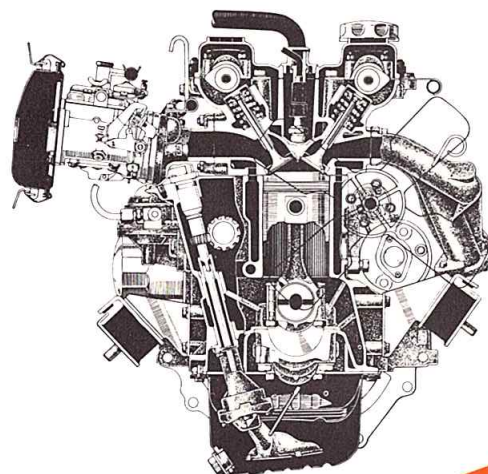
カラーバンパーとレザートップはオプション





ボンネットを開くとまず目に飛び込んでくる迫力の2T-G型エンジン。真黒に結晶塗装された重厚なシリンダーヘッドカバーには、〈TOYOTA1600〉の文字が鮮やかにレリーフされています。このエンジンこそ、セリカ最強のGTモデル、GTVとその兄弟であるGTにふさわしい高性能エンジン。そのメカニカルな美しさは、まさに芸術品。油くさい香りの中にスピードの限界に挑むものだけが持つ、厳しいまでの気品を漂わせています。

しかし、ひと度スターターが回り、眠りから覚めれば強烈なエネルギーを発生する、激しい生き物に変わります。その咆哮を聞くあなたは、きっと“DOHCのトヨタ”の技術と伝統の重みを実感なさるでしょう。発生する出力は最高115PS/6,400rpm。最大トルク14.5kg-m/5,200rpm。キャブレターは2ステージ型ソレックス40PHHをツイン装備。圧縮比は9.8。ボア×ストロークは85×70mmのショートストロークタイプ。総排気量1,588cc。燃焼効率の高い半球型燃焼室。スパークプラグは、そのセンターに位置。そして、両わき66度に配置された吸排気弁。この機構が火炎伝播、燃焼室内の掃気やプラグの冷却に威力を発揮、高出力を生み出すハイメカニズム。さらに、精度の高いダブルローラチェーンと2本のオーバーヘッドカムシャフトが、直接バルブを作動させるため、連続高速回転にも、すばらしい追従性と耐久性が得られ、余裕は十分。その豪快な立ち上り性能、高速域での圧倒的なノビの良さは、まさにこのエンジンなら



サーキットのあの興奮が実感できる。
1588cc・DOHCエンジン
ホットなパワーユニット。

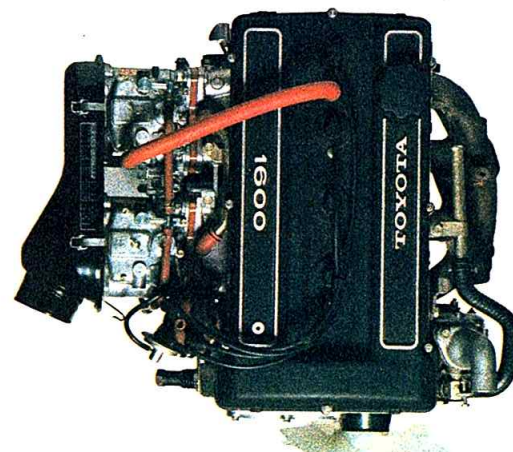
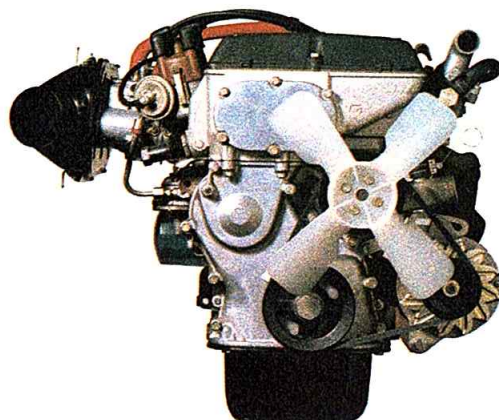
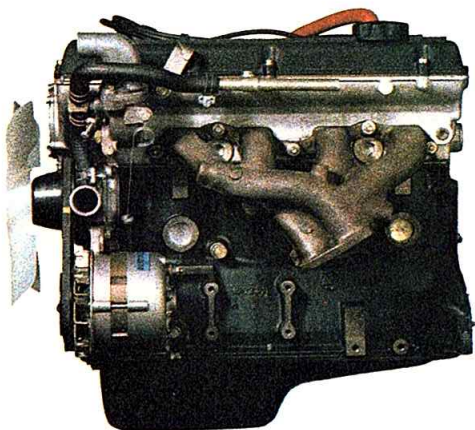
ではのものです。しかも、高トルクゾーンが広く設定されているため、低回転域に入ってもネバリ強さは抜群。フレキシビリティのすばらしさは注目のマト。混雑した市街地での低中速運転でも、細かい神経を使わずにすみずみ。なお、最高出力110PS/6,000rpm、最大トルク14.0kg-m/4,800rpmを発生する圧縮比8.8のレギュラーガソリン仕様エンジン(2T-GR)も用意。

Engine: DOHC 1,588 cc
Maximum horsepower: 115 ps / 6,400 rpm
Maximum torque: 14.5 kg-m / 5,200 rpm

このエンジンには、クランクケースから吹き出るブローバイガスをインテークマニホールドに吸い込ませて、再燃焼させるブローバイガス還元装置がついています。さらに、燃料タンクから発生する蒸発ガソリンの大気中放出を防ぐ燃料蒸発ガス排出抑止装置を装備しました。この装置により、燃



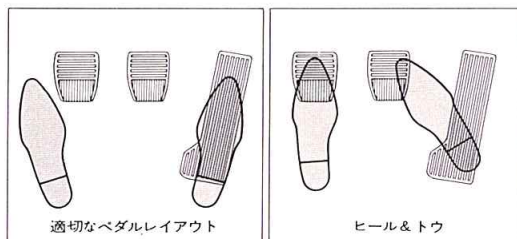
料タンクからの蒸発ガソリンはエンジン停止時にチャコールキャニスターが吸収・浄化。エンジンが作動するとエンジン内部に導入して燃焼されます。



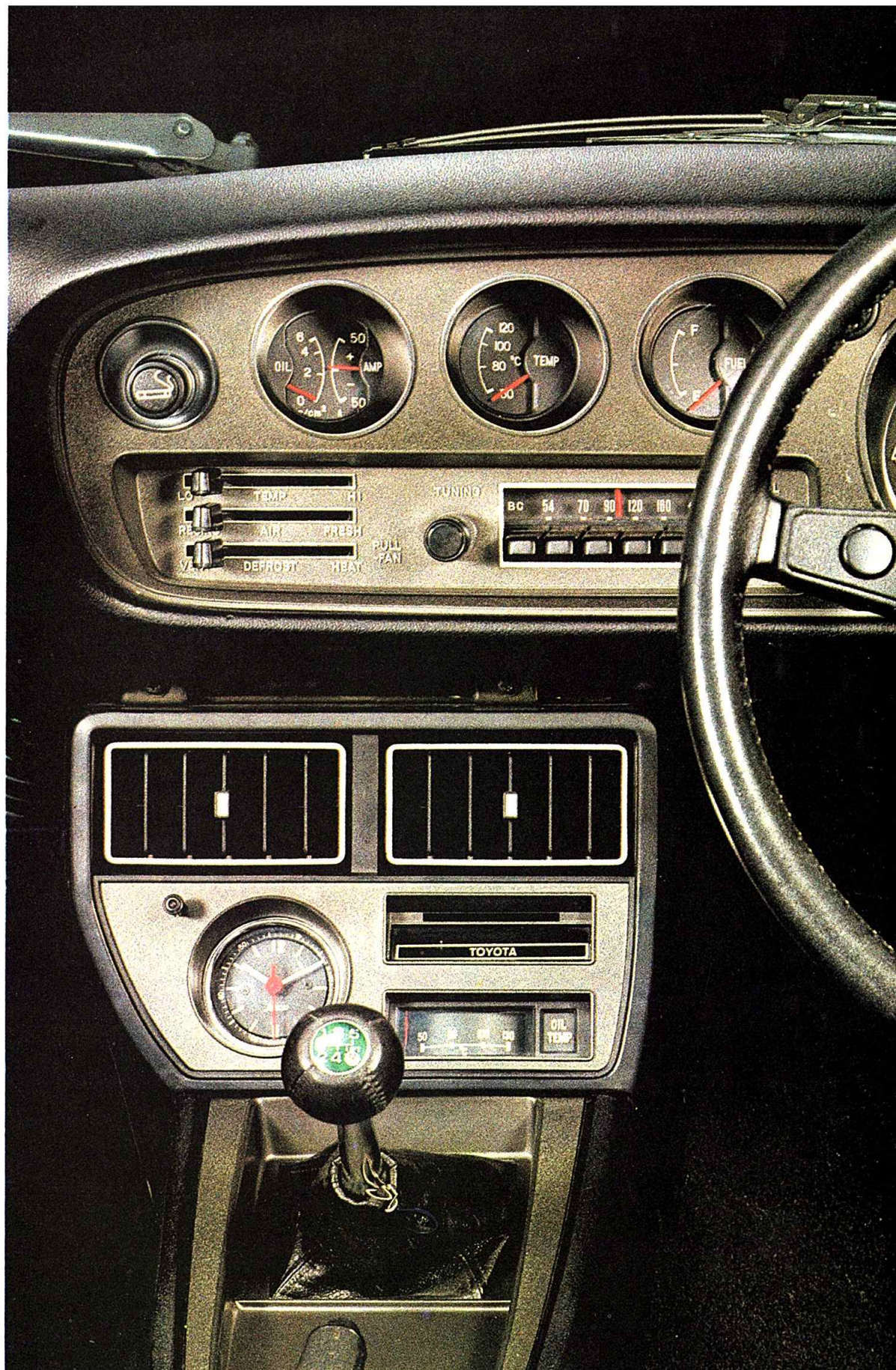
グランド・ツーリングカーの誇りを
無言のうちに語りかけてくる計器盤。
前にする度に、無上の喜びをおぼえる。

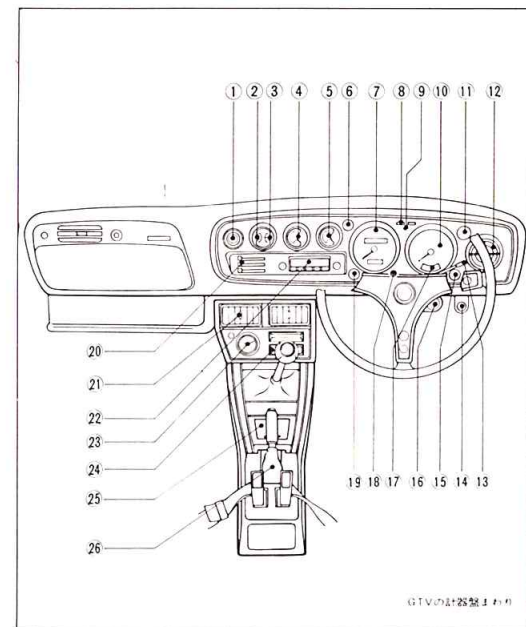
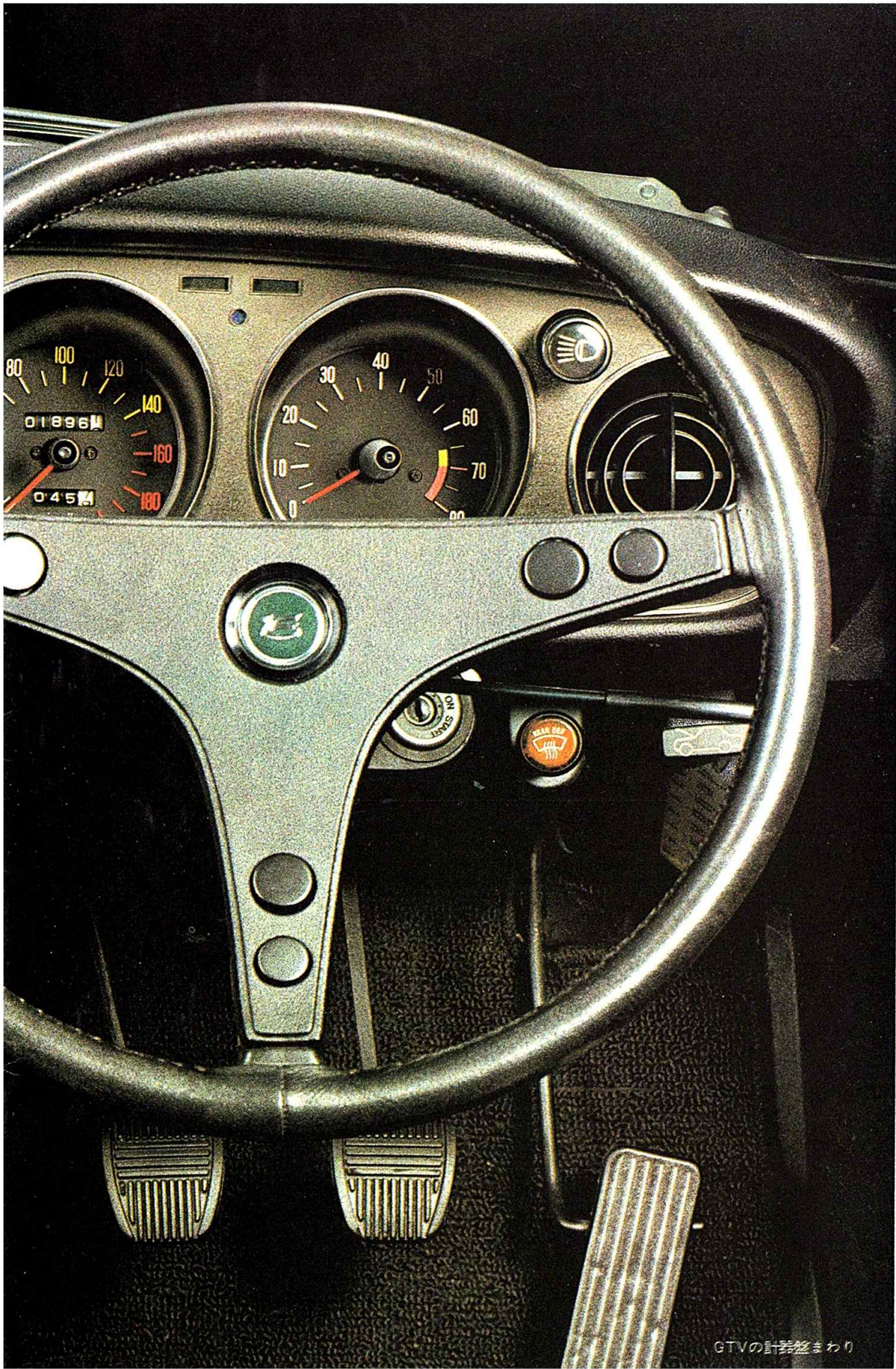
ゆったりとシートに身を沈め、ぜいたくに構えてください
目の前に広がるオーバル型の計器盤には右から、大型のタコ
メーター、スピードメーター。その横には、燃料、水温、電流、
油圧の状態を逐一、ドライバーに知らせる各計器群がビル
ト・インされています。ダッシュボードまでせり上がった大型
の新フルコンソール。GTVには横長ゲージ式の油温計まで
セットされています。これらの計器群の形状、レイアウトには
瞬間に動くドライバーの目——その可視性と視線移動が
徹底的に追求されています。しかも、ロングツアーや夜間
走行での目の疲れを防ぐため、照度が自由に調節できる
コントロール付。さらに、ライト、ハザード、ワイパースイ
ッチは、それ自体が存在を示す、ノブ照明付です。

ステアリングは、プッシュボタンを押さなければキーが抜けな
いセフティキーロック。3本スポークのホイール。そして、シフト
レバーノブは黒皮巻き。とくにGTVのステアリングは、18.0～
20.5のバリエアブルレシオのギヤを採用。高速での安定性
旋回時のシャープさを実現。軽快な操縦性を楽しめます。
フートスペース・レイアウトにも十分な計算がなされているた
めヒール&トウのテクニックも自在に発揮できます。さらに
コーナーでのふんばり、左足のレストのためのスペース
も理想的にとられています。



ラジオはGTVがAM。GTがAM-FM。タイムリング付3針時
計。強力なブースト付ベンチレーター。パーキングブレーキ
のブーツ。防眩脱落式ミラー。コラプシブルハンドル。
チャイムが鳴る速度警報装置などの装備は両車に標準仕
様です。





- ① シガレットライター
- ② 油圧計
- ③ 電流計
- ④ 水温計
- ⑤ 燃料計
- ⑥ ワイパー/ウォッシャー・スイッチ(ノブ照明付)
- ⑦ スピードメーター
- ⑧ ターニングナル・インジケータランプ
- ⑨ ハイビーム・インジケータランプ
- ⑩ タコメーター
- ⑪ ライティング・スイッチ(ノブ照明付)
- ⑫ サイド・ベンチレーター・ルーバー
- ⑬ ターニングナル・レバー
(ヘッドランプ・ディマー)
(ヘッドランプ・ホーン)
- ⑭ リヤウインドウ・デフロッガー・スイッチ
- ⑮ ハザード・ウォーニング・スイッチ(ノブ照明付)
(パーキングランプ)
- ⑯ イグニッション&スターター・スイッチ
(2操作式ステアリングロック)
- ⑰ パーキングブレーキインジケータランプ
- ⑱ トリップメーター・ノブ
- ⑲ チョーク・ノブ
- ⑳ ヒーター・コントロール・レバー
- ㉑ ブーストベンチレーション(またはエアコン)吹き出し口
- ㉒ AMラジオ(GTはAM/FMラジオ)
- ㉓ タイムリング付3針時計
- ㉔ 油温計(GTVのみ)
- ㉕ アッシュトレイ
- ㉖ パーキングレバー・ブーツ

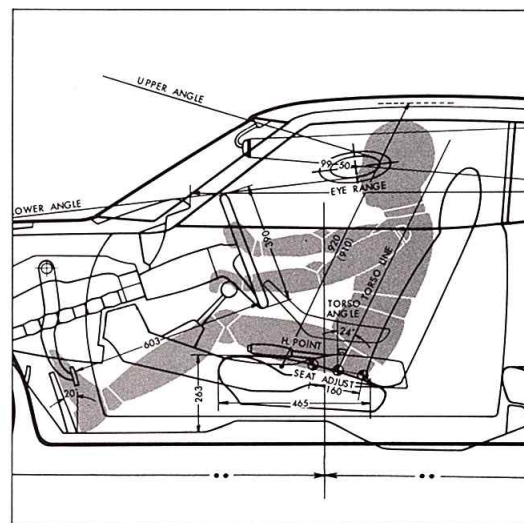
一度、着座してほしい。
すばらしい体験があなたを待っている
このドライバーズシートに。





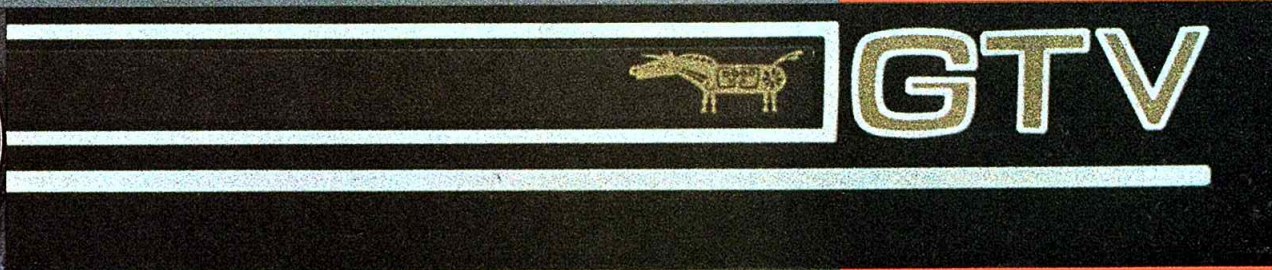
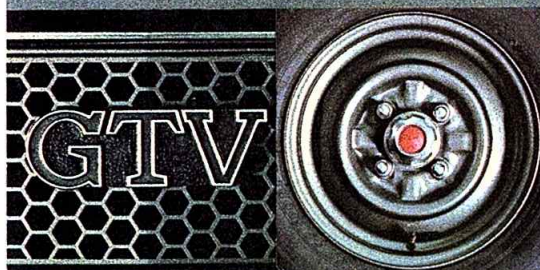
いままでの車と決定的に違う！セリカのハンドルを握るとなりましたが、必ず実感なさるすばらしい体験。それは、前後アクスルの中央に、しかも、グッと低い位置に構えたミドル&ローの運転席がもたらす、かつてないドライブフィリングです。高速コーナリング時でも、身体と車体が一体ですから、全く不安感をいだく余地がありません。従って、車とドライバーの関係は常に一本の運動神経で結ばれているような、快適ささえおぼえるほど。まさに、人・車一体の絶妙な運転感覚が味わえます。

室内で、あなたが発見なさるもうひとつの驚き。それは流れるように美しく、低いルーファイン—GTVの車高わずかに1300mm(GTは1310)—の下にかくされた居住空間の大きさ。走行性能を重視するスポーツカーがギセイにしがちな、この点をセリカはグランド・ツーリングカーの名において解決しています。フロントはゆったりとしたバケット型。バックレストがぐっと張った本格派です。材質に金属バ

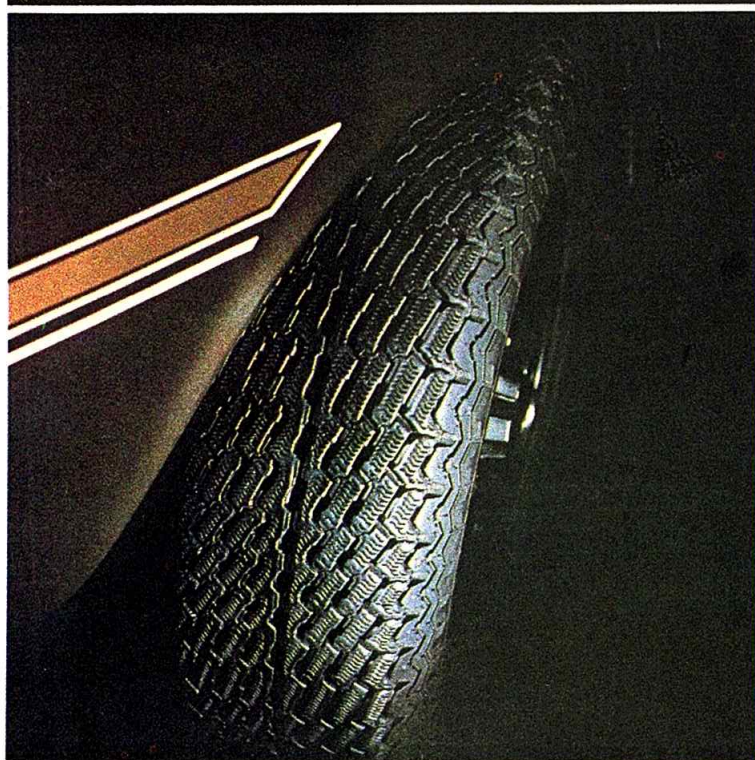


ネを使わずに、ゴム板バネとウレタンフォームで設計した極めてユニークなもの。アジャスト量は160mm。身体のある人でもストレート・アームの姿勢がビシッと決まります。リヤは余裕たっぷりの3人掛け。シートベルトは、前2席ともリトラクター付3点式。シート設計のたくみとあいまって、高速コーナリングでも身体をガッチリとホールド。姿勢にみだれはありません。

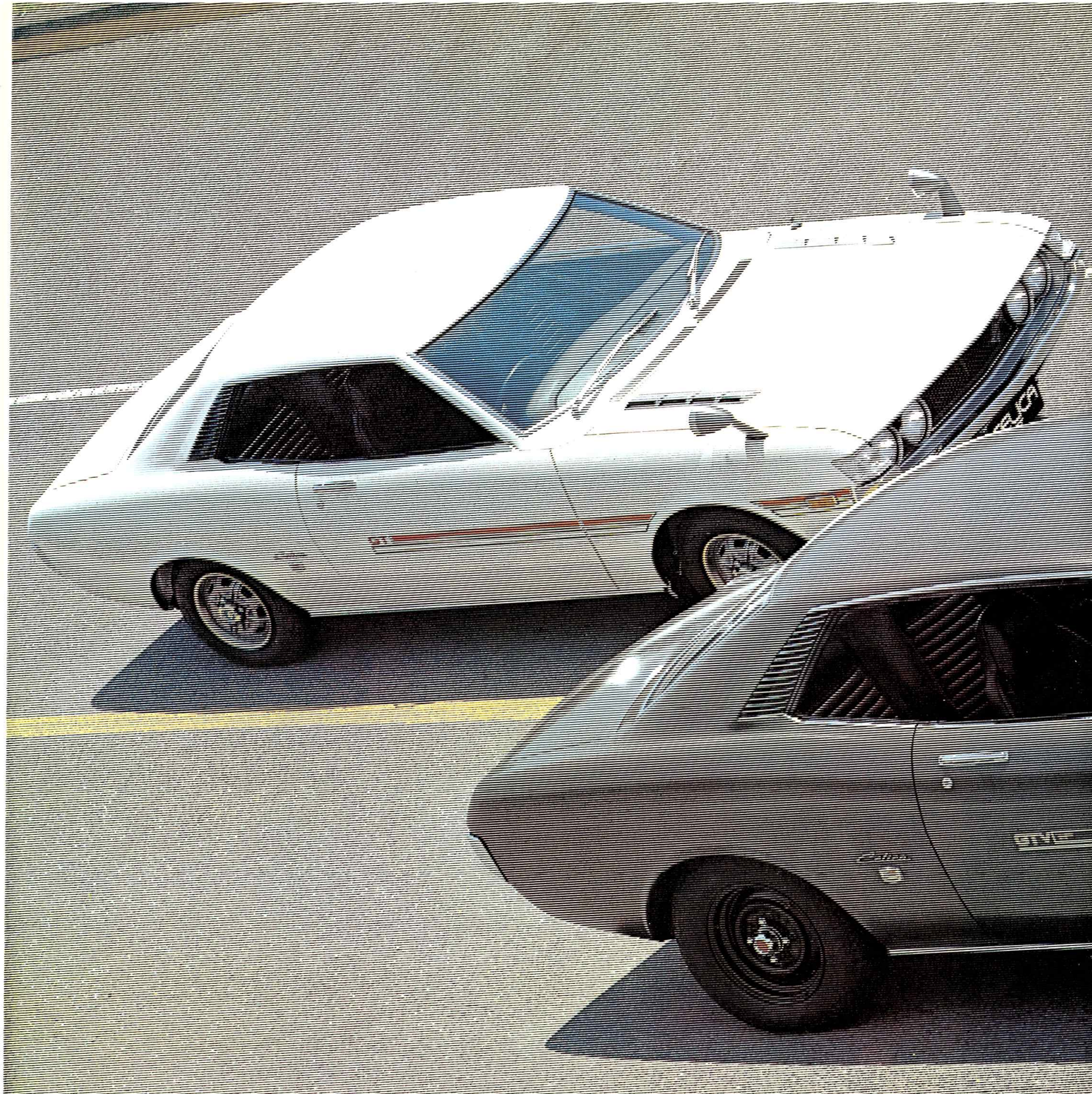
三角窓もセンターピラーもないセリカ。フルオープンで、走ってください。爽快です。雨の日はビタリと窓を閉ざして、それでも快適です。ベンチレーションは極めて強力。窓の開閉は、パワーでできます(GT)。リヤウインドウは、ガラスの曇りを防ぐ熱線入り。細かい配慮はインテリア設計にも行きとどき、天井は、一体プレス成型。断熱・遮音材がふんだんに使われており、見た目にも美しいもの。ヘッドクリアランスも大きく、安全です。この室内こそ、安全とプライバシーをまもり、ドライバーの神経をやわらげる理想のものです。

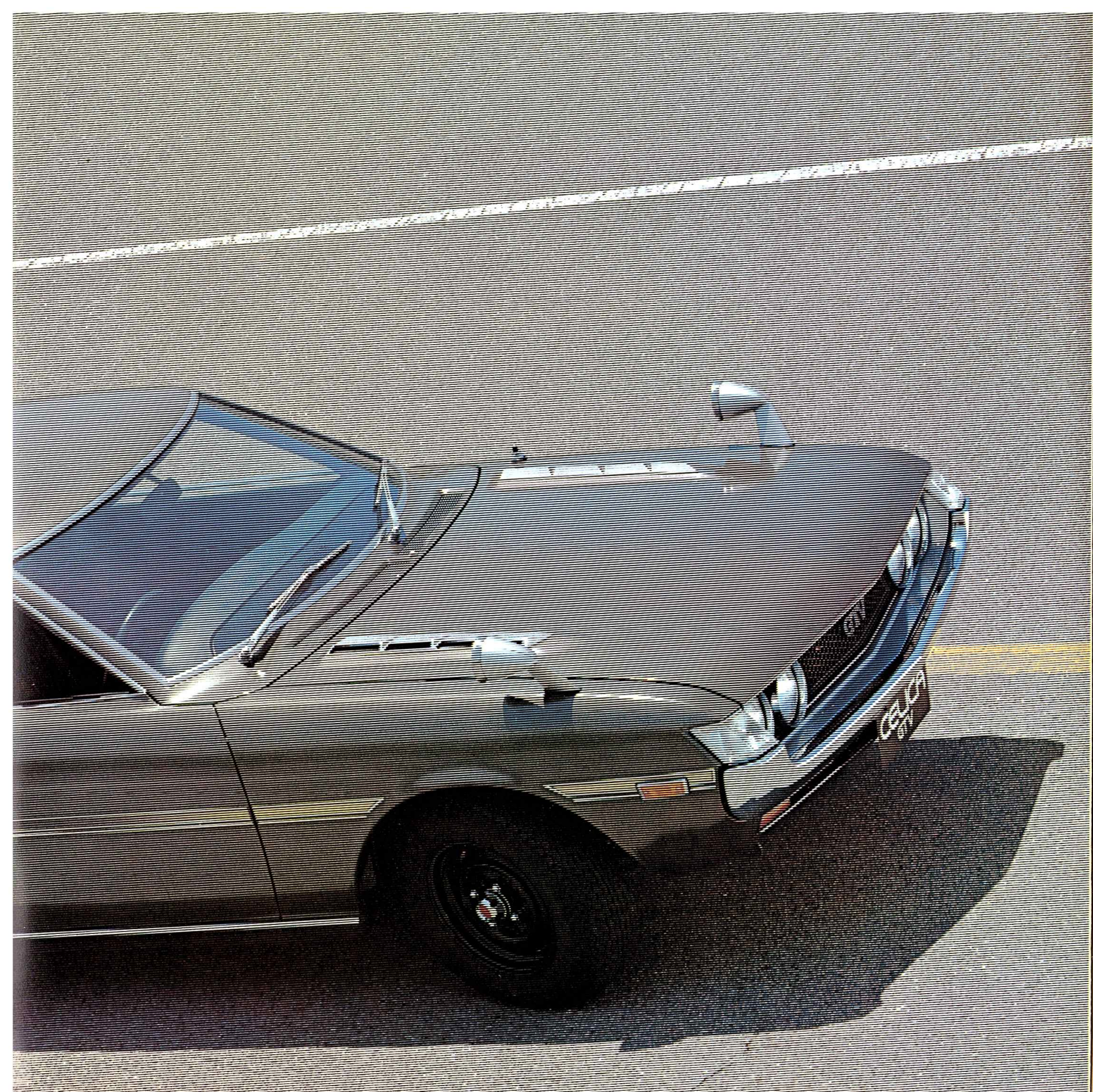


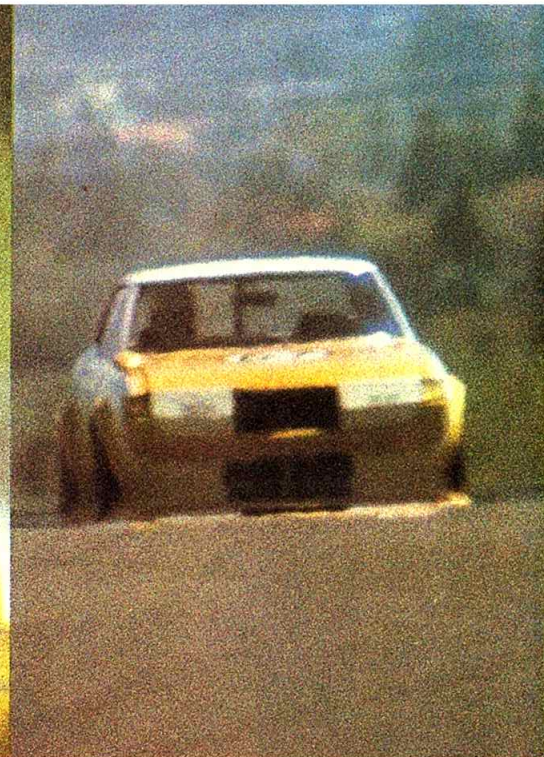
走り去る姿を見せつける機会が多いGTV。リヤランプ・ブレーキランプとターニングナルを分離。レンズも立体化。視認性も向上。ロアバックの「GTV」がひととき鮮烈だ。



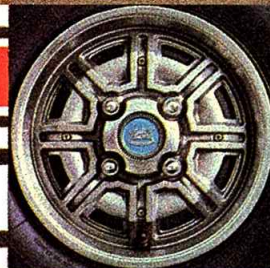
凄味を感じさせる超偏平・高速ラジアル(185/70HR・13)。接地面が広くグリップは無類 ① 大型フルコンソールにセットされた、横長ゲージ式油温計 ② 5ボタン式AMラジオ







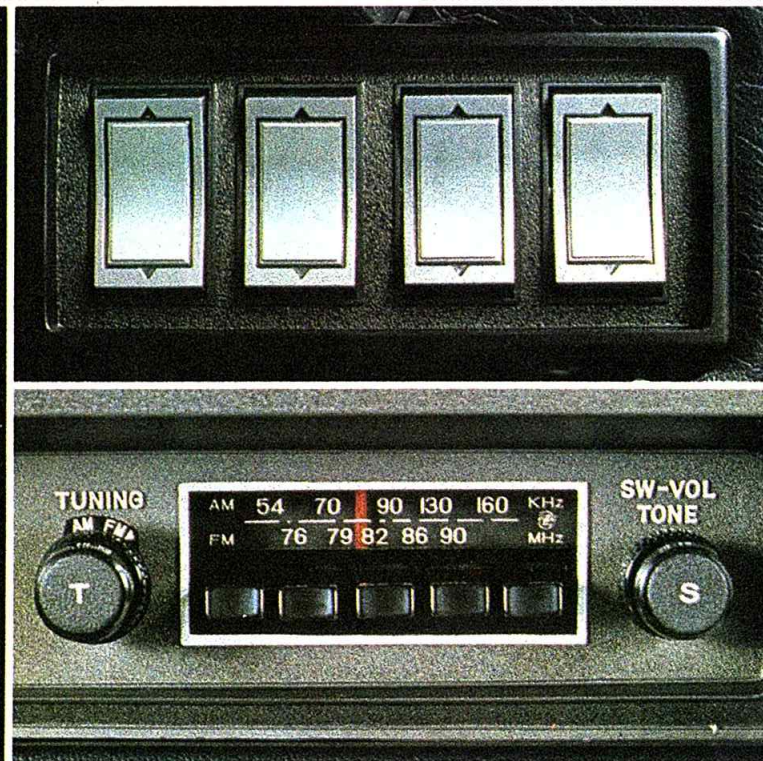
GT



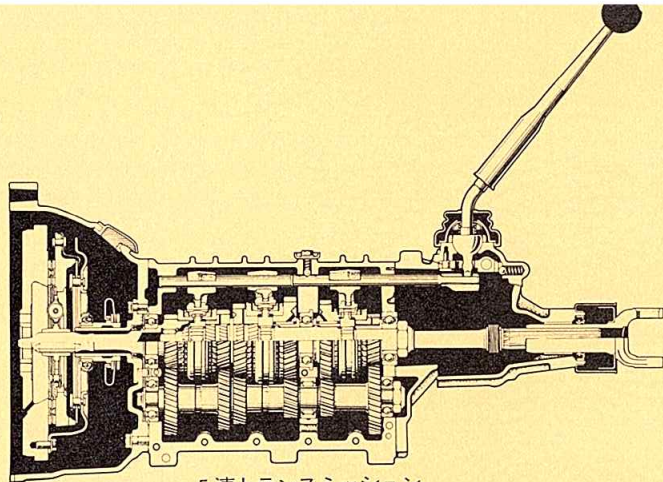
ブラックハニカムのグリル。バンパーを一体化したフロントは、薄く鋭く、長くのびて、鮮やかに路面を走る。サイドからリヤにかけて盛りあがる曲面は精悍で刺激的。



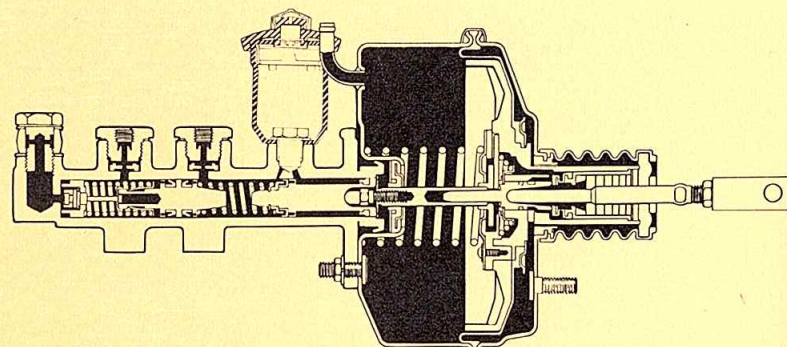
タイヤは偏平、6.45H-13-4PR。(写真はオプションのラジアル)



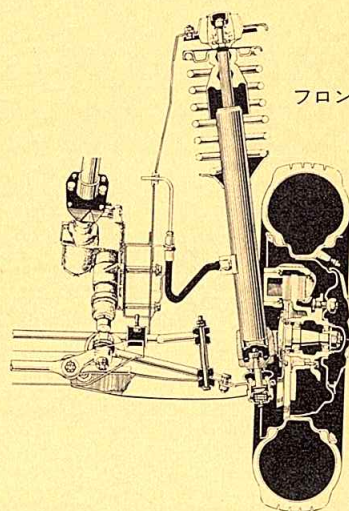
⑤パワー仕様のサイドウインドウ ⑥FMまで付いた5ボタン式高級ラジオ



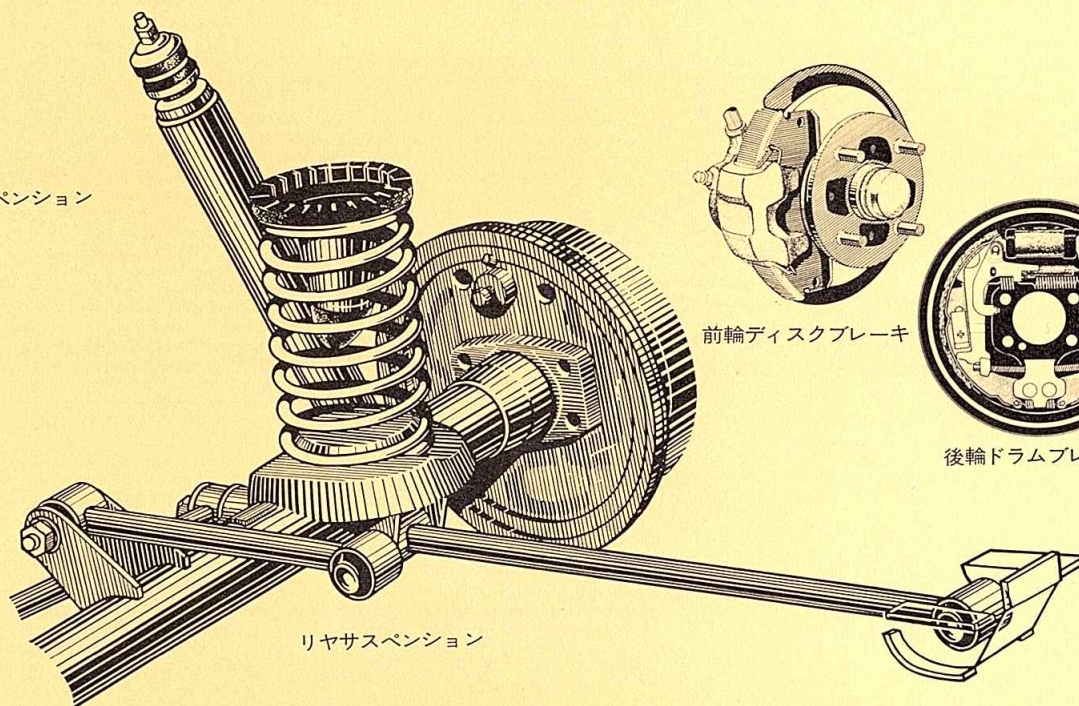
5速トランスミッション



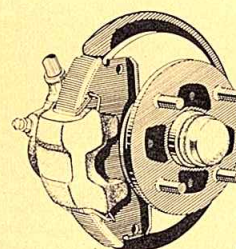
タンデムマスターシリンダーとブレーキブースター



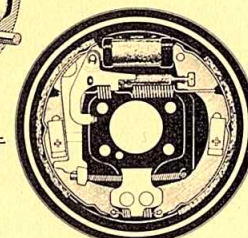
フロントサスペンション



リヤサスペンション



前輪ディスクブレーキ

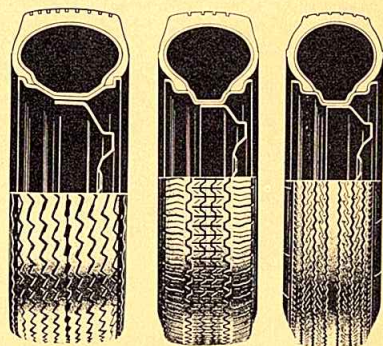


後輪ドラムブレーキ

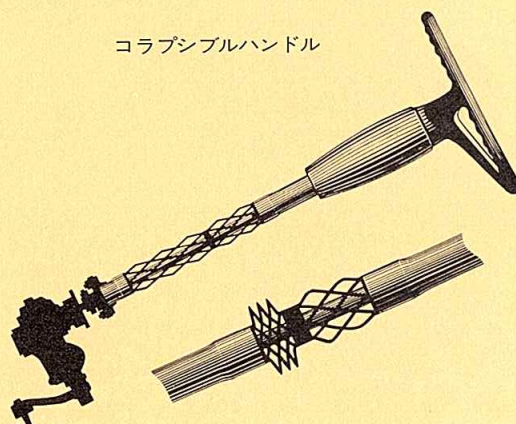
超偏平
高速ラジアル

ラジアル

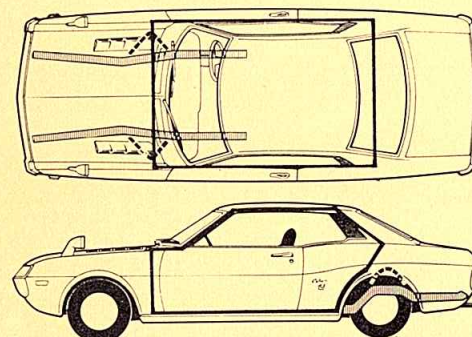
偏平



コラプシブルハンドル



ユニットコンストラクションボデー



●シフト・ワークが冴える本格派の5段トランスミッション

ローからトップまで、極めて適切なギヤ比がセッティングされた5段トランスミッション。理想的なファイルギヤレシオ4.111と組合って、強力なエンジンパワーを引き出し、発進から高速走行まで、豪快な加速感覚をドライバーに与えてくれます。シンクロは強力。カシッときまるショートストローク、ダイレクト方式のフィーリングは、すばらしい応答性と男性的なフィーリングをもたらします。第5速はオーバートップ。ギヤ比0.861。ハイウェイクルージングでは、エンジン回転数をおさえ、静かで経済的。もちろん、直線コースでは、一気にハイスピードの世界に突入させてくれます。

●目のさめるような操向安定性を見せるフロントサスペンション

定評のあるマクファーソンストラット型を採用したフロントサスペンション。バネ下重量が軽く、操向安定性が特に高く、その上路面からのショックや騒音をボデーに伝えない優れた懸架装置です。GTはバネ常数1.7kg/mm。GTVはより高めて、2.3kg/mmのハードセッティング。トーイン以外はアライメント調整が不要。給油も不要。

●ガッシリと大地をグリップする安全性の高い3つのタイヤ

タイヤは高速ツーリングカーにふさわしく、安全性の高い偏平タイヤ(6.45H-13-4)をGTに標準装備。さらにスポーツライクのドライブを、とおっしゃる方には165HR-13のラジアルとGTVに標準装備の超偏平・高速ラジアル(185/70HR-13)もお求めいただけます。185/70HR-13のタイヤは、いかにGTVが走る機能とそれにマッチした高度な安全性を身につけているかの証しです。ディスクホイールは5J リム(GTは4½J)

なぜ速いのか、どうして安全なのか、セリカは…。このハイメカニズムが、装備が答えてくれる。

●抜群の高速コーナーリングパワーを示すリヤサスペンション
リヤサスペンションは4リンクラテラルロッド付コイルスプリング。4本のリンクが前後の力を、ラテラルロッドが、左右の力を分担吸収。操縦性、安定性、乗心地の面で大きな力を発揮します。通常の独立懸架の欠点、キャンバー変化が少ないため、高速コーナーリング時の安定性確保に抜群の効力を示します。リヤのショックアブソーバーは乗心地を快適にするためGTは高圧ガス封入式。GTVは複動筒式。バネ常数はGTが1.7kg/mm、GTVは2.1kg/mm。

●切れ味はシャープ、構造は安全。高速車にふさわしいステアリング機構

ステアリングは、万一の場合、エネルギーを吸収、収縮してドライバーの安全を確保するコラプシブル。ステアリングギヤはGTが、リサキュレーティングボール、ギヤ比18.1。軽快な切れ味を身上としています。GTVはバリアブルレシオギヤを採用して、高速走行時の安定性、旋回時でのシャープさを実現しています。ホイールは3本スポーク。リムには黒皮を巻いて、スポーティ感を盛りあげています。

●二重の安全を確保する2系統式油圧回路とブレーキブースター

フロントとリヤに各々、独立して作用する2系統式油圧ブレーキ、タンデムマスターシリンダー。万一、片方に故障がおきても、もう一方が動き安全です。また油圧回路には、後輪ロックを防いで、車を安定して停めるPバルブ(プロポーションングバルブ)がついています。さらに、ダイレクト・アクティング式のブースター付ですので、パワーアシストにより、軽い踏力で確実な制動力を発揮。ドライバーの労力を半減します。

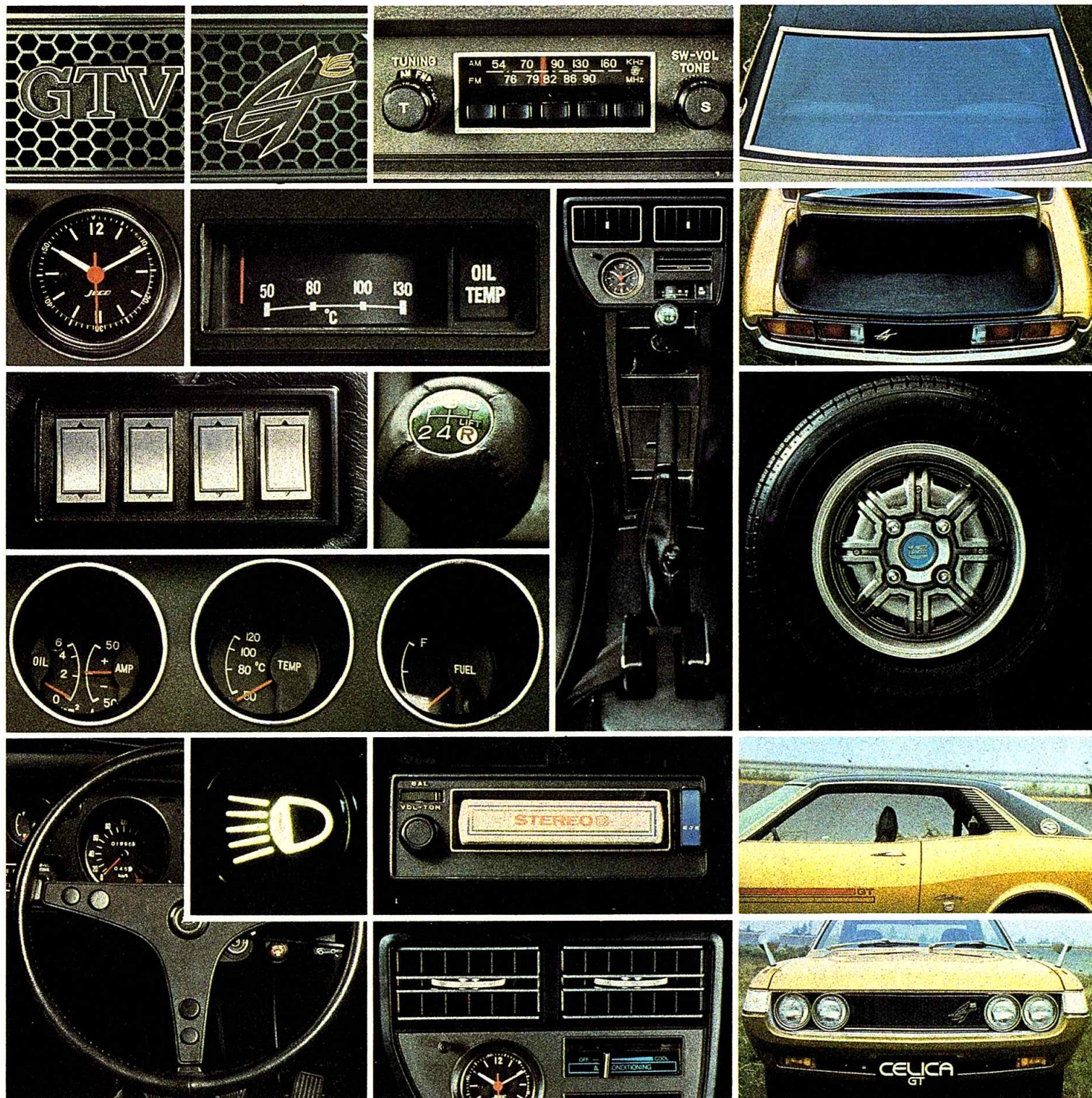
●信頼性の高い前輪ディスク、後輪ドラム・ブレーキ

前輪ブレーキは大型のディスク。高速での連続使用にも、フェード現象が起りにくく、冠水にも強く制動力は、安定。信頼性の高いブレーキです。後輪には、リーディングドレーリング(自動調整装置付)を装備。

●美しい肢体をささえる剛性の高いボデー構造

ボデー構造は、軽くて剛性の高いユニットコンストラクション。フロント部とリヤエンド部が、衝突エネルギーを吸収、車室へのショックを極力軽減して、乗員の被害を少なくします。とくに、セリカではフロント部、リヤ部のエネルギー吸収性を高め、車室部の剛性を大きくする構造計算が、なされています。

エクステリアにインテリアに
 気品と香りがある。
 “GTの中のGT”の貫禄か。



Vは勝利のシンボル
力強いGTVマーク

華麗なGTマーク、
飛竜をイメージした
シンボルマーク

5ボタン式AM/FMラジオ…GTに標準装備
(GTVは5ボタン式AMラジオ)

リヤウインドウの曇りを消す、熱線式リヤ
ウインドウ・デフォッガー

ラリーなどに実に便
利なタイムリング付
3針時計。

フルコンソールにセットされた横長ゲージ式
の油温計(GTV)。ドラムが回転して、オイル
の温度を常にドライバーに適確に知らせます。
スポーツ走行に欠せない装備。

スペアタイヤをトランクフロア下部に埋め込
んだ、フラットで大容量のトランクルーム

サイドウインドウの開閉をスイッチひとつで
自在にできるパワーウインドウ(GT)。全部の
窓が、運転中でも自由に昇降できます。

スポーツ・ムードも
十分な本格巻きシフ
トノブ。

ダッシュボードまで
のびた大型フルコン
ソールボックス。
エアコン吹き出し口
(ブーストベンチレー
ション兼用)を内蔵。
GTVには油温計を
セット。

たくましい足まわりを物語る、重厚なマグネ
シウムトーンのGT用ホイールキャップ。GTV
は、超偏平・高速ラジアル(185/70HR-13)タ
イヤにふさわしい野性的なハブキャップ。

見やすい無反射式丸型メーター。目盛りは本格的な
ゲージ式。左から、油圧計・電流、水温計、燃料計。

夜間でも、操作
が適確にできる
ノブ照明付スイ
ッチ。ライト、ハ
ザード、ワイパー
スイッチに採用。

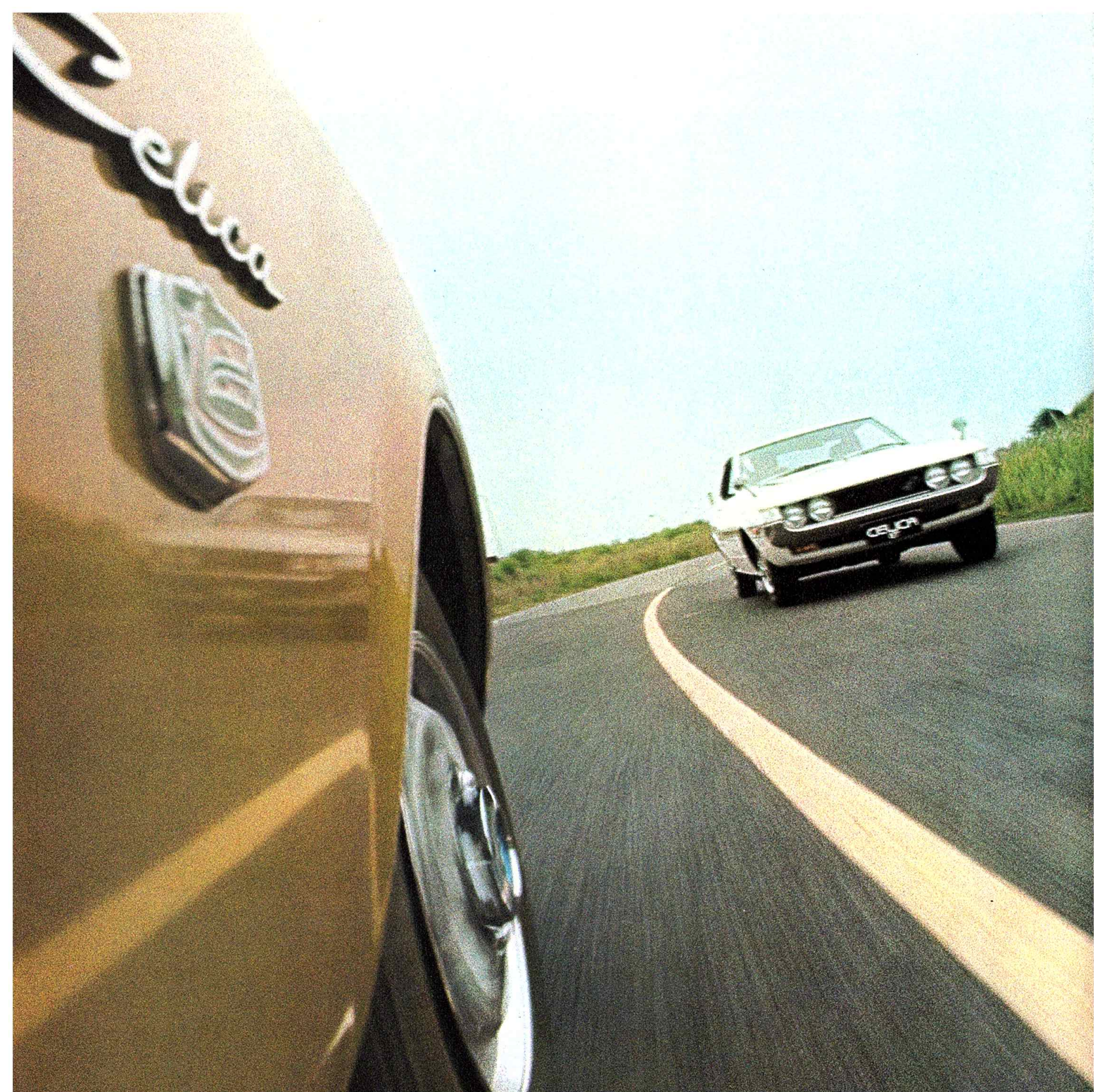
イキなGTムードをさらに高める、セリカ専用の
カーステレオ。すばらしいサウンドを楽しめる
ハイクオリティなもの(オプション)

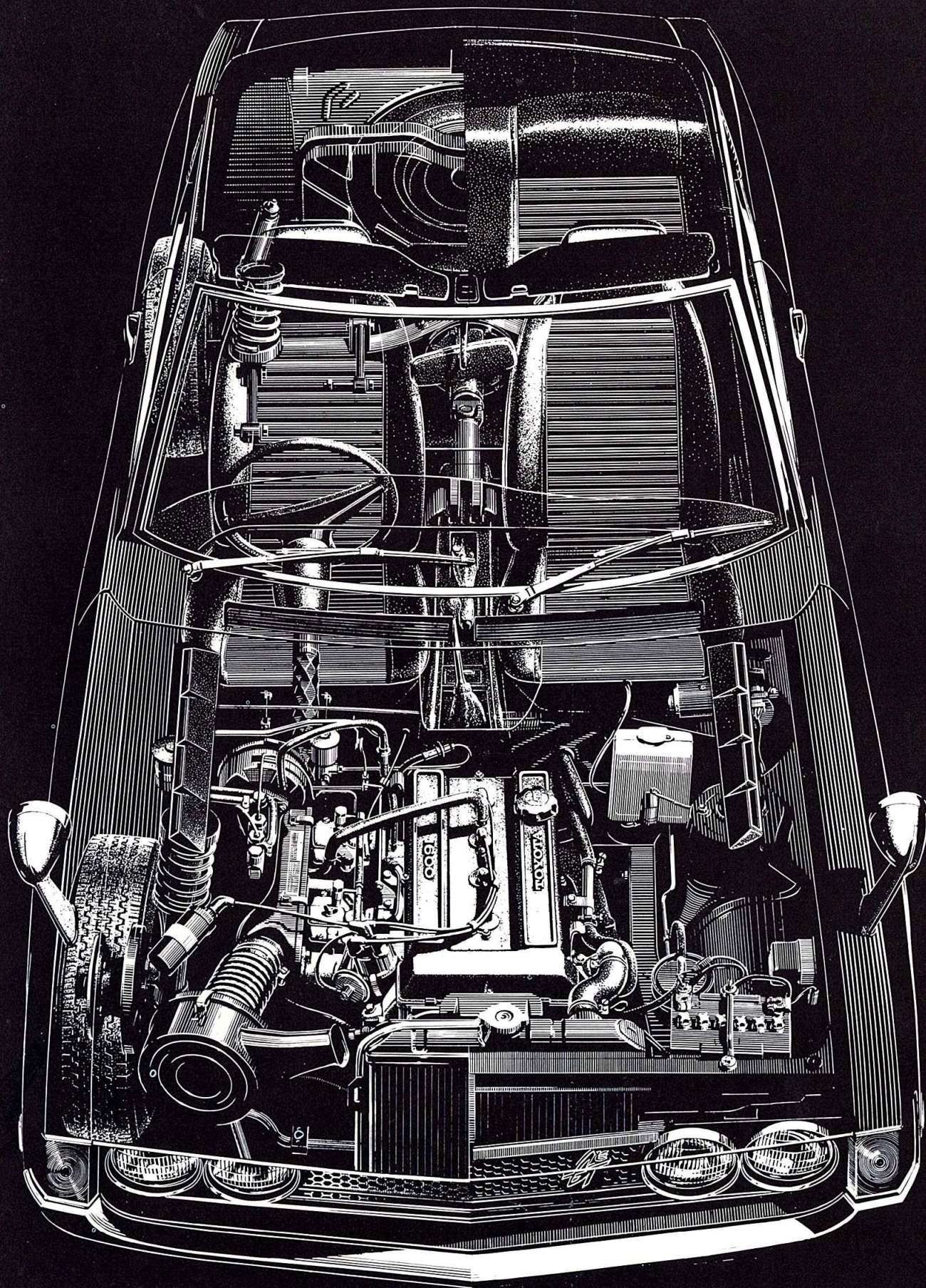
赤、白、黒の3色が用意されたレザートップ
(オプション)

本革巻き3本スポークのステアリングホイール

高温・多湿時のドライブを爽快にかなえるカー
エアコン。(オプション)

ボデーとの一体感が強調されるエラストマ・カ
ラーバンパー (GTのみオプション)





セリカ1600GTV・GT主要諸元

■エンジン

エンジン型式	2T-G型<2T-GR>
種類	水冷直列4気筒DOHC
内径×行程	85×70mm
総排気量	1,588cc
圧縮比	9.8<8.8>
最高出力	115ps/6,400rpm<110/6,000>
最大トルク	14.5kg-m/5,200rpm <14.0/4,800>
燃焼室型式	半球型〔センター・スパークプラグ〕
キャブレター	ソレックス型ツイン
ブローバイガス還元装置	クローズド方式
バッテリー	12V-35AH
オルタネーター容量	12V-40A
スターター	12V-0.8KW
ガソリタンク	50ℓ
ガソリン	プレミアム<レギュラー>

■性能

最高速度(推定)	190km/h<185>
登坂能力	0.61tanθ(0.63tanθ)<0.58(0.59)>
0発進→400m	16.5秒<16.6>
最小回転半径	5.0m(4.8m)
制動距離(初速50km/h)	13.0m(13.5m)

■走行伝導装置

クラッチ形式	乾燥単板ダイヤフラム
トランスミッション	前進5段オールシンクロメッシュ
操作方式	フロアチェンジ
変速比	第1速 3.587 第2速 2.022 第3速 1.384 第4速 1.000 第5速 0.861 後退 3.484

減速機歯車形式 ハイボイド

減速機減速比 4.111

プロペラシャフト 2分割

ステアリング コラプシブル

ステアリング形式 リサーキュレーティングボール式

ステアリングギヤ比 18.0~20.5〔可変〕(18.1)

■サスペンション

フロント マクファーソンストラット型コイルスプリング

リヤ 4リンク・ラテラルロッド付コイルスプリング

■ブレーキ

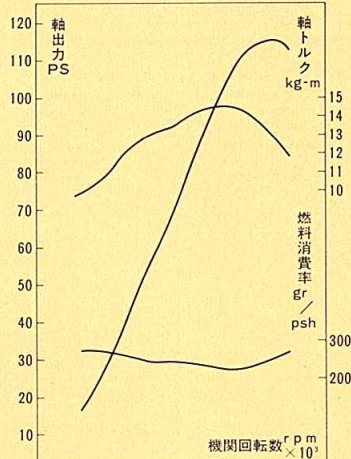
フロント ディスク

リヤ リーディングトレーリング

■タイヤ

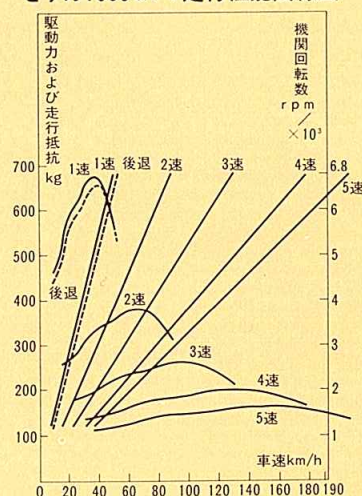
185/70HR-13超偏平・高速ラジアル
(6.45H-13-4偏平)

2T-G型エンジン性能曲線図



ドラマティックに走るセリカの姿を
まぶたに浮べるにちがいない——
この諸元を読み取った時のあなた。

セリカ1600GTV走行性能曲線図



■寸法

全長	4,165mm
全幅	1,600mm
全高	1,300mm(1,310mm)
室内長	1,625mm
室内幅	1,330mm
室内高	1,070mm
フロントシート・ヘッドクリアランス	920mm
リヤシート・ヘッドクリアランス	865mm
ホイールベース	2,425mm
トレッド(前)	1,300mm(1,280mm)
トレッド(後)	1,305mm(1,285mm)
最低地上高	165mm(170mm)

■車両重量

965kg(955kg)

■定員

5名

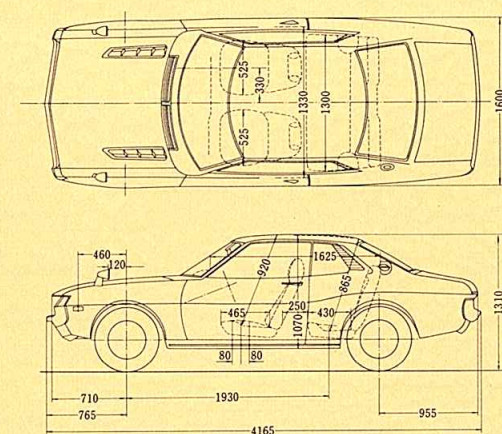
■装備および外観

前方窓ガラス	熱線吸収合わせガラス
サイドウィンドウ昇降装置	手動式(パワー)
エンジン油温計	有(無)
ラジオ	AM.5ボタン式(AM-FM.5ボタン)
大型フルコンソールボックス	GTV用(GT用)
ラジェータグリル・オーナメント	GTV用(GT用)
サイドストライプ	GTV用(GT用)
ディスクホイール	5Jリム(4½J)
ホイールキャップ	ハブキャップ(フルキャップ)
ホイールオープニングモール	無(有)

()内はGT

< >内はGTV・GTに用意されたレギュラーガソリンの仕様。

■セリカ1600GT寸法表

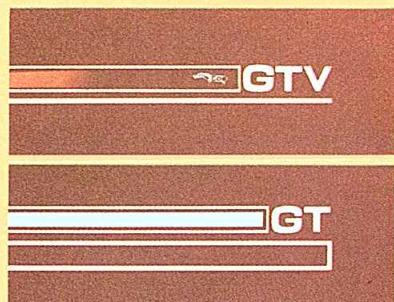


道路運送車両法による新型車届出書数値。

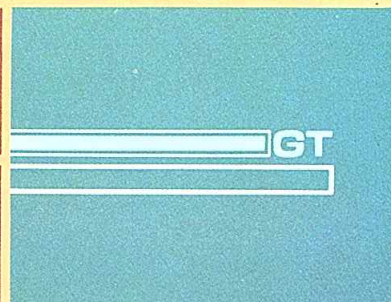
本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

■ボデーカラー

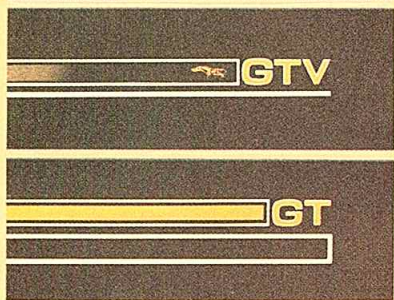
シビリアン・レッドM



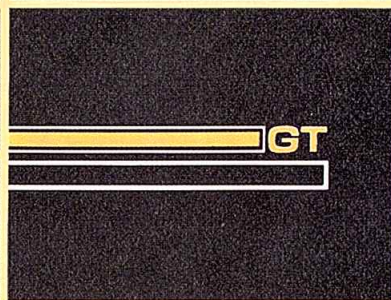
カジュアル・ターコイズM



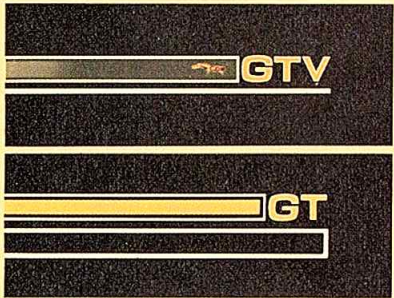
マンリー・ブラウンHM



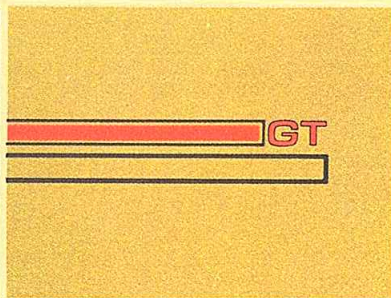
ロンサム・ブルー



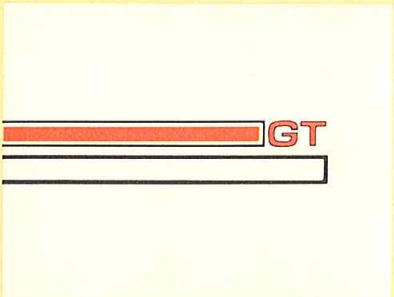
ソール・オリーブ



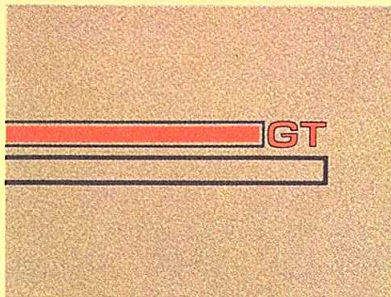
ファンシー・ゴールドM



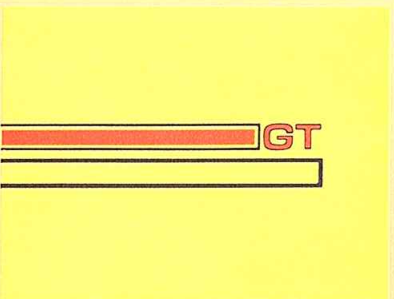
ホワイト・スピリット



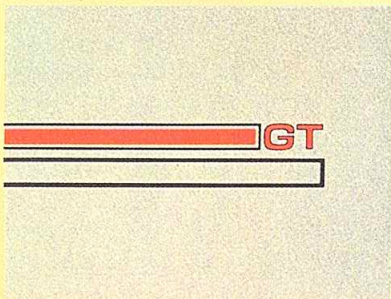
ジェントル・ページュM



ダッシング・イエロー



ソシアル・シルバーM



GTVのストライプは、基本色はGTと同一ですが、グラデュエーションで変化する色調になっています。



愛される事をめとして

TOYOTA



トヨタカローラ道北

杜 工 ス ビ 一 サ 社 本
場 会 示 展 車 古 中 本
場 所 業 業 營 條 条 本
所 所 業 業 營 寄 内 四
所 所 業 業 營 別 寄 雜
所 所 業 業 營 良 名 富

旭川市大雪通 7 丁目 506 番地

TEL (代) 262411 ~ 4

旭川市4条通12丁目左2号

TEL (代) 243311 ~ 4

稚内市大黒町5丁目

TEL ③3290・4259

名寄市西 4 条北 5 丁目

TEL (代) ② 4 5 7 1

士別市大通北7丁目

TEL (3) 3 5 7 4
TEL (4) 2584 5

富良野市学田1区

TEL (17) 3584 ~ 5